

平成 23・24 年度 土木学会複合構造委員会 第 9 回幹事会議事録

1. 日 時：平成 24 年 9 月 6 日(木) 14:00～16:10
2. 場 所：名古屋大学 工学部 8 号館北棟 210 号室
3. 出席者：杉浦委員長，島副委員長，西崎幹事長，池田幹事，大久保幹事，奥井幹事，葛西幹事，
齊藤幹事，立神幹事，広瀬幹事，古市幹事，松本幹事，渡辺幹事，大山(記)
竹原事務局 (欠席者：下村幹事，溝江幹事)

4. 配布資料

- 資料 幹9-0 第9回 複合構造委員会幹事会議事次第
- 資料 幹9-1 第8回 複合構造委員会幹事会議事録(案)
- 資料 幹9-2-1 土木学会論文集 特集号 (事前打ち合わせ内容)
- 資料 幹9-2-2 土木学会論文集 特集号編集小委員会 設立趣意書
- 資料 幹9-2-3 複合構造委員会運営細則 改正(案)
- 資料 幹9-2-4 土木学会論文集 特集号 (工程表)
- 資料 幹9-3 「第4回 FRP複合構造・橋梁シンポジウム」プログラム
- 資料 幹9-4 出版関係
- 資料 幹9-5 受託研究について
- 資料 幹9-6-0 小委員会一覧
- 資料 幹9-6-1 (欠 番)
- 資料 幹9-6-2 (欠 番)
- 資料 幹9-6-3 H105 300年プロジェクト小委員会
- 資料 幹9-6-4 (欠 番)
- 資料 幹9-6-5 (欠 番)
- 資料 幹9-6-6 (欠 番)
- 資料 幹9-6-7 H210 複合構造物の防水・排水技術研究小委員会
- 資料 幹9-6-8 (欠 番)
- 資料 幹9-6-9 (欠 番)

5. 議事内容

(1) 委員長挨拶

幹事会開催にあたり，杉浦委員長より挨拶がなされた。

(2) 平成 23・24 年度 第 8 回 複合構造委員会 幹事会議事録(案)の確認 (資料 幹 9-1)

西崎幹事長より，前回(第 8 回)幹事会の議事録(案)が読み上げられ，承認された。

(3) 第 4 回 FRP 複合構造・橋梁シンポジウムについて (資料 幹 9-3)

松本幹事より，「第 4 回 FRP 複合構造・橋梁シンポジウム」のプログラムについて説明がなされた。なお，竹原事務局より，現時点で 11 編の論文しか投稿されていないとの報告があり，未投稿の方には，早急に投稿する旨の連絡をすることになった。

(4) 土木学会論文集 特集号発刊について (資料 幹 9-2-1～幹 9-2-4)

西崎幹事長より、土木学会論文集 特集号発刊に関する事前打ち合わせ(9月4日(火)実施)内容について説明がなされた。主な内容は、以下のとおりである。

1) 小委員会 予算

- ・ 建築学会がシンポジウムを主催する年(=4年に1回)でも、土木学会会員の参加費の一部(例えば、20%)を土木学会側に配分してもらうことで、予算表の作成は可能である(構造工学シンポジウムで実績あり。当然、土木学会主催の際、建築学会会員の参加費の一部を建築学会側に配分する)。
- ・ 編集小委員会の活動費は、一部、旅費として支給するものとする。
- ・ 土木学会論文集 特集号への掲載料は、無料とする(投稿者から見た特集号のメリットは、早く、確実なスケジュールで発刊されるおよび費用が安く済むである)。

2) スケジュール

- ・ スケジュールは、小委員会の旅費および採択決定を年度内(3月)に収める設定とする。
- ・ シンポジウム開催時期は、従来通り、11月上旬としても上記の対応は可能である。
- ・ 小委員会の委員交代時期は、6～7月になる予定である。
- ・ 各小委員会委員長(含：親委員会委員長)への執筆依頼は、7月～10月の間に、編集小委員会と幹事会の間で決め、11月初めの編集小委員会時に決定、依頼する。
- ・ 特集号は5月号、No.5となる見込みである(No.1～3：通常号、No.4：地震工学特集号)。

3) 編集小委員会の委員長、幹事長、委員の交代のフロー

- ・ 委員長：1期2年とする(親委員会委員長 → 論文集小委員会委員長の流れ)。
- ・ 委員：1期2年(基本的に1期は留任して2期4年とする。1期ごとに半数が交代する)。
- ・ 幹事は、鋼とコンクリート分野の2名で分担する。

4) その他

- ・ 査読フローは、別途、策定する。
- ・ 投稿時、特集号に推薦するために必要な査読の有無を著者に尋ねることはしない。
- ・ タイトル変更および推敲後、極端に内容の追加があった場合の対応 → 論文が良くなる方向であれば問題ないものとする。
- ・ 建築の論文は原則対象外? → 土木に役立つ良い論文は推薦しても良いと思われる。

説明の後、議論が交わされ、スケジュールに論文賞推薦に関する記述を追記することで承認された。今後、親委員会に編集小委員会設立に関してメール審議を行い、承認後、小委員会を開催し、詳細を詰めることになった。なお、費用のやりとりに関しては、杉浦委員長が、建築学会宛に打診することになった。

(5) 出版関係 (資料 幹 9-4)

立神幹事より、H210 小委員会の出版企画書(「<仮称>複合構造物を対象とした防水・排水技術の現状評価」)が提出された旨の報告がなされた。一方、西崎幹事長より、H211 小委員会は、二分冊で出版を考えているが、目次の作成に時間を要するため、出版企画書は、9月末の期限以降に提出することになる旨の説明がなされた。また、渡辺幹事より、H104 小委員会も出版企画書を提出する予定であるとの報告がなされた。

(6) 受託研究について (資料 幹 9-5)

西崎幹事長より、現在、FRP 水門技術ガイドライン作成小委員会の委員選出を行っているとの報告がなされた。委員選出の後、親委員会の承認が必要なため、メール審議を行う予定である。

また、受託額は、委員決定の後に決まるが、200 万円で可能な見込みである。なお、委員会番号は H180 とすることになった。

(7) 小委員会報告審議事項

複合構造標準示方書小委員会 (H101)

渡辺幹事より、現在、各 WG で検討を行っており、次回の全体委員会は、10 月 4 日(木)に開催するとの報告がなされた。

300 年プロジェクト (H105) (資料 幹 9-6-3)

古市幹事より、8 月 24 日(金)に第 1 回目の小委員会を開催し、以下のグループに分かれて活動を行うとの報告がなされた。

- ① 暴露試験方法に関する検討
- ② 既存耐久性研究の調査・検討
- ③ プロジェクト実施方法の検討

複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会 (H210) (資料 幹 9-6-7)

西崎幹事長より、今後のスケジュール(原稿を執筆し、平成 25 年 8 月下旬に出版予定)について、報告がなされた。なお、期間を超えて活動する場合の委嘱状に関して、委員長と相談の上、その有無を決めることになった。

複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会 (H212)

斉藤幹事より、土木学会誌の 10 月号に委員公募を掲載し、10 月末に締め切り、11 月に小委員会を開催する予定との報告がなされた。

最後に、土木学会論文集特別号編集小委員会の委員会番号は、H005 とすることになった。

(8) その他

特になし

以上 (記録・文責：大山)